

# 令和2年度「東北地域中小企業等人材確保支援事業」 令和2年度「東日本大震災被災地域中小企業等人材 確保支援等事業」

令和2年11月  
東北経済産業局  
産業人材政策室

# 1. 東北（被災）地域中小企業に対するハンズオン支援等事業

✓以下①～④の支援を総合的に実施することにより、**東北地域中小企業の人材力（確保・育成・定着）を強化。**

- ①専門家派遣により、経営課題・ビジョンを明確化、それらを踏まえた求人像確立・職場環境改善・人材確保のノウハウ提供等を実施。
- ②企業の経営ビジョンや、そこで働く魅力等をウェブサイト等で発信。企業の魅力発信力を強化。
- ③企業ニーズに合う人材を確保できるようマッチングの場を提供。
- ④内定辞退や従業員の離職低減を図るため、定着支援を実施。

※被災三県に対しては、復興予算の活用により水産加工業に特化した支援など、更に深掘りした支援を実施。

## 【事業イメージ】

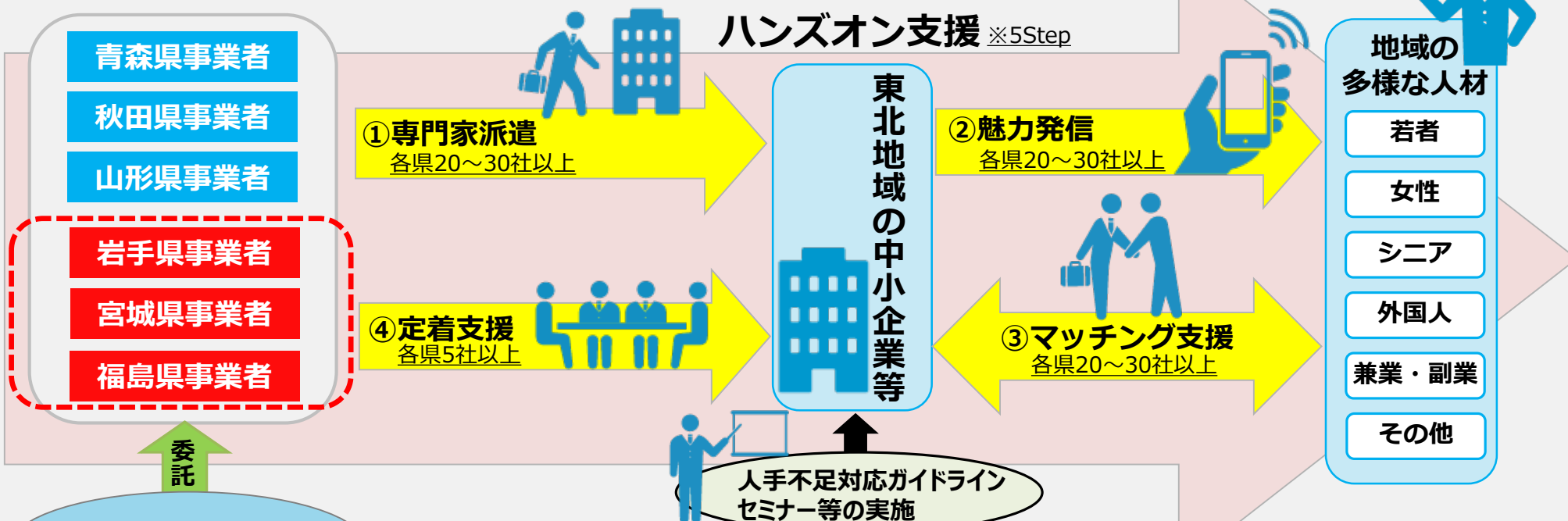
支援企業数：①～③は青森・秋田・山形で20社以上、岩手・宮城・福島で30社以上、④は支援ニーズに応じて各県5社以上。

対象企業：地域未来牽引企業など、東北地域の経済の牽引に期待できる中小企業の中から支援企業を選定。

選定方法：支援企業の選定においては、人手不足対応ガイドライン等のセミナー開催のほか、アンケート調査により選定。

令和2年度一般会計予算事業

令和2年度復興特会予算事業



※人手不足を解消するための5Step  
Step1戦略の優先付け（経営課題の見つめ直し等）、Step2戦略・業務の見直し（人・モノ・金をどうやりくりするか等）、  
Step3求人像・活用方法の明確化（働き手の目線で人材募集や職場環境の見つめ直し等）、Step4求人/採用（魅力発信や求人方法の  
改善）、Step5職場環境の見直し（人材育成・定着支援）

東北経済産業局

## 2. 東北（被災）地域U I Jターン促進事業

### ①魅力発信

東北6県に何かしら関りを有する「関係人口」やU I Jターンを希望する首都圏人材に対して、W e bサイト・S N S・セミナー等を通じて地域や企業情報を発信・拡散。東北地域の現状を理解し、中小企業の魅力を訴求することによりマッチングの成功率を高める。

### ②マッチング機会の創出

首都圏において、中小企業と求職者のマッチングイベントや交流会・転職支援のウェブサイト等の活用により、東北地域企業と首都圏人材の積極的なマッチング機会の創出を行う。首都圏人材との出会いの場を提供することにより東北地域企業の人材確保を強化。

※事業実施においては、東北6県のハンズオン支援事業者と連携して事業を実施。

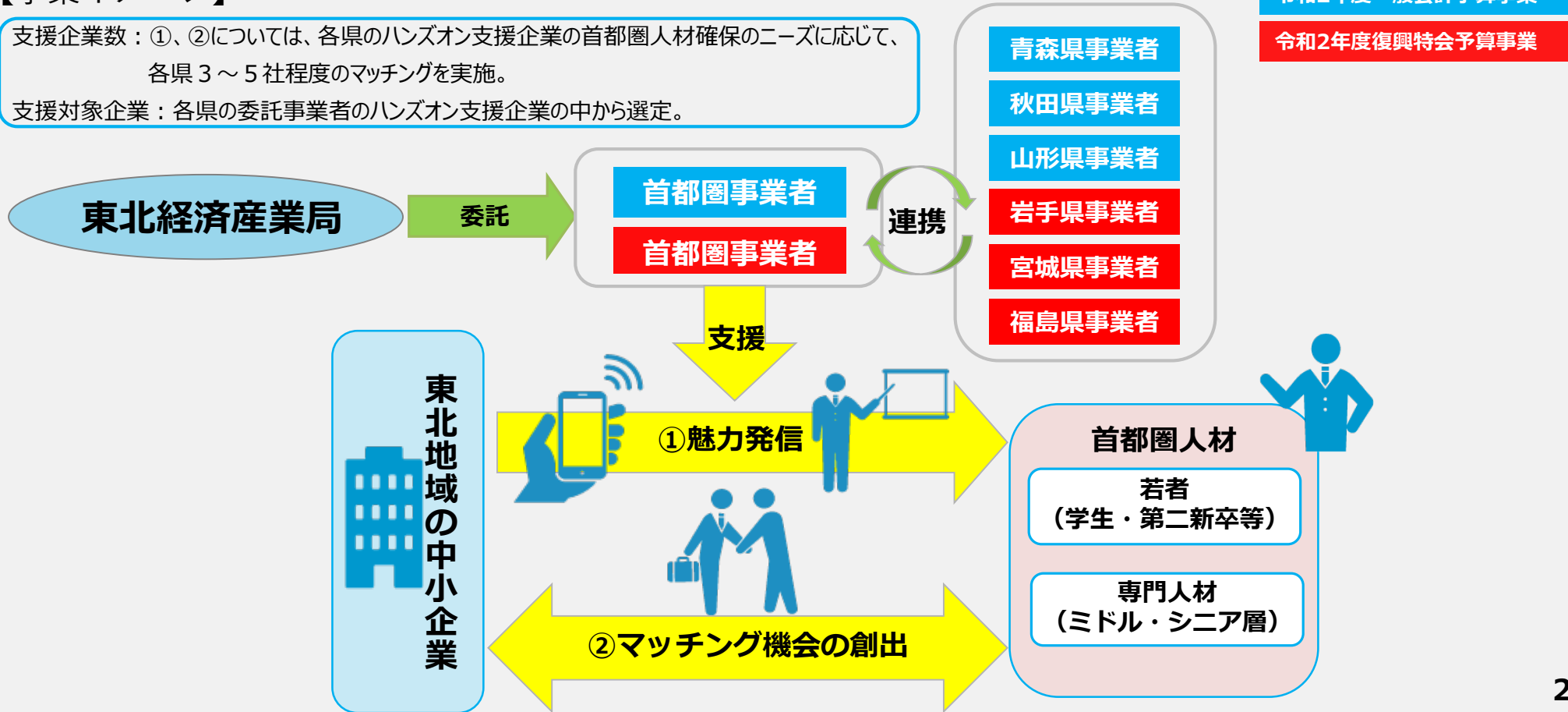
### 【事業イメージ】

支援企業数：①、②については、各県のハンズオン支援企業の首都圏人材確保のニーズに応じて、各県3～5社程度のマッチングを実施。

支援対象企業：各県の委託事業者のハンズオン支援企業の中から選定。

令和2年度一般会計予算事業

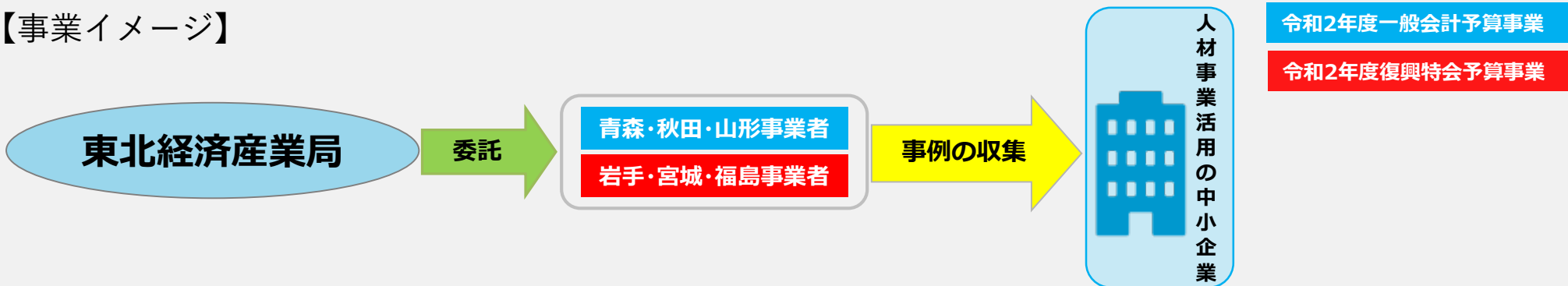
令和2年度復興特会予算事業



### 3. 東北（被災）地域企業における人材確保・定着の優良事例収集

- ・人材確保事業の活用により、人材確保・定着に繋がった東北（被災）地域の中小企業の中から優良な事例を収集。
- ・収集した事例については、人材確保・定着のためのノウハウ等の共有を図るために活用。

#### 【事業イメージ】



### 4. 就職氷河期世代とのマッチング事業

- ・就職氷河期世代における不安定就労者とマッチング支援等を実施。
- ・事業実施においては、求職者（就職氷河期世代の不安定就労者）を呼び込むため、各県労働局に設置される氷河期世代専門窓口と連携して取り組む。

#### 【事業イメージ】



## 5. 水産加工業等イノベーション人材確保事業

- 被災地域の中でも、とりわけ売上げの落ち込みや人手不足が深刻な水産加工業等を対象に、経営環境の変化に対応した事業モデルの開発や経営システムの構築、新市場の開拓等のイノベーションを図り、その上で各企業の状況に合わせた人材確保・定着を支援。とりわけ、副業・兼業等による外部人材マッチングを実施。
- 震災後10年となる節目の年度にあたり、三陸の水産業者が、未来志向で、次なるアクションに繋がる取組を意識（三陸水産業において、ポスト復興創生に向けた更なる機運を醸成）。

### 【事業イメージ】

令和2年度復興特会予算事業

#### 2020年6～8月

##### ① 水産業プランニング講座

- ・主に三陸水産業の経営層を対象に、事業プランニング講座を実施。
- ・複数回の集中合宿と地域コーディネーターによる伴走支援により、企業の成長戦略の策定と、必要なリソース獲得を目指すもの。

#### 2020年9月

##### ② マッチングイベントの開催

- ・震災復興10年目を意識し、三陸水産事業者のアクセラレートとブーストを目的とした複合型マッチングイベントを開催。
- ・三陸内外の先進事例の共有とテーマ毎のトークセッションを行うとともに、外部人材とのマッチングや、「水産」×「〇〇」のニーズ・シーズマッチング等を実施。

#### 2020年10月～2021年2月

##### ③ 外部人材マッチング

- ・主に首都圏人材に対し、三陸水産業の魅力を発信し、多様な働き方（特にリモートワークや副業・兼業）でのマッチング支援を実施。
- ・マッチングから成約に至るまでを丁寧にサポート。

※ 地域コーディネーターが伴走支援。

##### ④ 人材定着支援

- ・社員の離職率低下や戦力化に向けて、経営層向けの支援を実施。

##### ⑤ テーマ別研究会のサポート

- ・三陸地域の水産業者が、共通課題の解決に向けて連携して取り組む活動をサポート。

## 6. 被災地企業に対するプロボノ派遣事業

- 人手不足が顕著な東日本大震災被災地域において、「プロボノ」という「新しい働き方」を提案し、「将来的な人材母集団形成（中企庁「人材力研究会」より）」を行う。
- 被災地企業、首都圏人材向けの普及啓発、モデル事業、自立化検証事業を行う。

### ①プロボノ普及啓発事業

令和2年度復興特会予算事業

#### 被災地域で開催

##### a.被災地企業向けプロボノ普及啓発（3回以上）

- ・被災地企業向けにプロボノ普及啓発イベントを開催
- ・首都圏等からのプロボノ人材の活用について普及する
- ・プロボノ体感プロジェクトの実施（3件程度）

#### 首都圏で開催

##### b.首都圏人材向けプロボノ普及啓発（3回以上）

- ・首都圏人材向けにプロボノ普及啓発イベントを開催
- ・プロボノという働き方の普及啓発

SNS・HP等で定期的に発信

### ②プロボノモデル事業

##### a.プロボノマッチングイベント（1回以上）

##### b.プロボノプロジェクト（5件程度）

- ・プロジェクトにはマネージャーを配置

##### c.プロボノ成果報告 イベント（2回以上）

- ・被災地域、首都圏で1回ずつ開催

将来的な人材母集団形成

### ③自立化に向けた仕組みづくり

- ・次年度以降に自立化することを見据えた仕組みの検討。
- ・被災地域をモデルに他地域にも展開できるよう、プロジェクト遂行にかかるノウハウ、注意点などを整理する。